

第1号議案

令和6年度 事業報告書承認の件

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

一般社団法人全国牛乳流通改善協会

I. 事業の実施内容

令和6年度の市場環境は、経済全体では回復の兆しが見えつつあるものの、牛乳販売店を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いた。燃料費や物流コストの上昇、少子高齢化・人口減少に伴う市場の縮小と労働力不足、そして主力商品である宅配商品の見直しや終売などの課題に直面し、加盟店には、それぞれの地域や顧客のニーズに応じた柔軟な対応が求められた。この様な中、全改協の加盟店向け実施事業は計画に沿って推進すると共に、必要に応じて実施要項を見直すなど効率を重視した事業運営に努めた。

1. 加盟店サポート事業

(1) ミルクカレンダーの制作・斡旋事業

①内容：ミルクカレンダーは加盟店と顧客を結ぶコミュニケーション強化ツールである。小林まさみ、小林まさる両氏の監修で、タイトルを「まさみ&まさるの元気が出る！ミルクおやつ」とし、スイーツ等12種、ドリンク6種を掲載した。従来と趣向を変え、スイーツ等を中心にしたことで、通常の料理よりも手軽に取り組める印象を持たせ、これにより牛乳乳製品のさらなる消費拡大を目指した。

レシピのほか、加盟店が日常行っている地域貢献への取り組みと連動させた、牛乳乳製品が健康に役立つこと、特殊詐欺等への注意喚起などを掲載した。

酪農乳業界に対する理解促進策として、表紙には農林水産省とJミルクが中心となり官民挙げて推進する「牛乳でスマイルプロジェクト」のロゴを掲載した。

都道府県流改協や牛乳普及協会、マーク団体を通じて広く消費者に配布した。

本年度は受注締め切りを例年より遅い時期に一回増やし、部数減少防止に努めた。

②実施時期：令和6年5月～12月

③事業実績：発行部数 694,880部

発行売上 42,663,800円（送料、店名印刷代を含む金額）

各都道府県別発行部数（窓口は流改協、牛乳普及協会等）

県名	部数	県名	部数	県名	部数	県名	部数
北海道	32,150	東京	30,200	滋賀	8,800	香川	5,250
青森	6,300	神奈川	24,900	京都	15,000	愛媛	13,900
岩手	10,200	新潟	41,800	大阪	28,400	高知*	6,500
宮城	16,170	富山	8,800	兵庫	36,400	福岡	22,000
秋田	7,700	石川	8,900	奈良	3,800	佐賀	5,300
山形	11,050	福井	2,000	和歌山	3,500	長崎	4,200
福島	10,300	山梨*	10,800	鳥取*	39,900	熊本	21,700
茨城*	7,350	長野	15,500	島根*	20,900	大分	6,200
栃木	6,830	岐阜	9,800	岡山	14,620	宮崎*	9,400
群馬	16,700	静岡*	9,700	広島	19,620	鹿児島	7,000
埼玉	4,350	愛知	18,650	山口	25,100		
千葉	39,200	三重	20,650	徳島	7,390	合計	694,880

（流改協組織がない*印の各県は牛乳普及協会等を経由して利用）

(2) 食品等流通合理化緊急対策事業

加盟店の設備・機器導入費用の軽減を図るため、公益財団法人食品等流通合理化促進機構の「食品等流通合理化緊急対策事業」の活用を案内した。

これまでの利用実績から、投資金額の大きい保冷車など配達車両の更新・新規導入時の制度利用をすすめたが、年度内での実績はない。引き続き加盟店の計画的な制度の活用を指定リース会社と連携して推進していく。

(3) 研修支援

加盟店の経営品質向上と組織活性化を目的として、都道府県流改協が主催する研修会支援制度の活用をすすめた。

- ・支援内容：規模に応じた会場使用料及び開催支援金を、規定に基づき全改協が負担。

(4) 組織活性化対策

理事会直下の担当役員による検討委員会において、組織の活性化と効率運営のための検討を行っている。

①組織検討委員会

都道府県流改協の活性化と加盟店減少への対応策として、都道府県流改協組織の見直しを進めるにあたり、加盟店数調査による組織の実態把握をすすめている。

②既存事業の見直し(優良事例発表・ミルクカレンダー)

- ・牛乳販売店優良事例発表および表彰事業は、発表事例を分かり易くするため発表方法の見直しを行った。
- ・ミルクカレンダーの制作・斡旋事業では、カレンダー機能のほか、レシピ活用度を上げるためデザート中心メニューを提案、その他継続飲用の健康効果等を掲載した。

③実施事業の検討

全改協が行う既存事業の整理と新規事業の検討を進めている。

酪農乳業界の喫緊の課題である消費拡大に向けて、宅配チャネルを活用した施策の検討を進め、次年度の業界横断的な事業実施計画につなげた。

2. 牛乳販売店の優良事例発表および表彰事業

発表店は各マーク団体からの推薦によって選出され、各店から提出された審査書類により一次審査を行い、発表候補店として8店を選定した。候補店には経営専門家3名による訪問調査を行い、その調査結果に基づく二次審査によって候補店8店すべてを発表会出席店とした。発表会では各店の取組内容を分かりやすくするため、発表にはパワーポイントを用いて行い、中央審査委員による審査によって、最優秀賞農林水産大臣賞以下各賞を選び表彰を行った。

今回発表の8店舗は、厳しい市場環境の中でも工夫を凝らし、新たな価値の提供に挑戦している。従来の営業手法にとらわれず、新規事業の展開や商品ラインナップの拡充を図る店舗、キャッシ

ユレスの導入に取り組む店舗、そして人員不足の課題に対して効率的な運営を模索する店舗など、それぞれの強みを活かし、店舗や地域の課題克服を目指す経営を実践している。また、地域社会とのつながりを強化し、顧客との信頼関係を深めることに注力している販売店も多く見られた。各事例内容は、発表会の動画と共に全改協ホームページに掲載して共有を図った。

(1) 審査委員（敬称略）

① 一次審査・二次審査委員

小畑秀之（中小企業診断士） 窪田靖生（中小企業診断士） 石川明湖（中小企業診断士）
 木納雅康（全改協会長） 白羽恵司（全改協副会長） 宮寄貴浩（全改協副会長）
 家村正則（全改協専務理事）

② 中央審査委員

内橋政敏（Jミルク専務理事） 佐南谷英龍（食流機構専務理事） 小畑秀之（中小企業診断士）
 木納雅康（全改協会長） 白羽恵司（全改協副会長） 宮寄貴浩（全改協副会長）
 家村正則（全改協専務理事）

(2) 第36回各賞入賞店

	賞	地域	販売店名	代表者	
①	最優秀賞	農林水産大臣賞	大阪府	タック有限会社	大里 達美
②	優秀賞	農林水産省 畜産局長賞	滋賀県	株式会社クエスト ミルクスト	澤田 厚
③	優秀賞	Jミルク会長賞	岩手県	小岩井牛乳二戸販売店	佐藤 真
④	優秀賞	全国牛乳流通改善協会 会長賞	北海道	菊地商店	水澤 智喜
⑤	優秀賞	全国牛乳流通改善協会 会長賞	福井県	株式会社森永若狭小浜ミルクセ ンター	吉田 光成
⑥	優秀賞	全国牛乳流通改善協会 会長賞	茨城県	神吉商事有限会社	神吉 洋行
⑦	優秀賞	全国牛乳流通改善協会 会長賞	京都府	森永西京都ミルクセンター	堀池 洋志
⑧	優秀賞	全国牛乳流通改善協会 会長賞	東京都	株式会社デサフィオ まごころミルクセンター南大沢	金子 恭士

3. 事業説明会議

令和6年度事業の詳細説明を目的として、7月5日(金)オンラインで開催した。

- ・出席対象は流改協事務局、メーカー窓口担当者、マーク協会役員
- ・「流通合理化緊急対策事業」の詳細は、この事業の主催団体である、公益財団法人食品等流通合理化促進機構 業務部長の田中成児氏から説明を受け、利用促進を図った。

* 出席状況

組 織	所 属	人 数
都道府県流改協	事務局長、事務局兼任会長（23流改協）	26名
マーク協会役員	雪印メグミルク協会	4名
	小岩井牛乳協会	1名
	森永牛乳協会	2名
メーカー担当者	雪印メグミルク、森永、小岩井、南日本酪農、九州乳業 他	10名
役員、事務局	木納会長、家村専務、事務局	4名
関係団体	食流機構	1名
計		48名

4. 広報関連事業等

(1) 機関紙「全改協だより」

全改協加盟店に対して、全改協事業の内容および実施状況を周知し、販売店経営に係る酪農乳業の各種情報、牛乳乳製品に関する情報を提供した。また、業務の円滑化を図るための資料や情報、特に経営改善のための各種公的助成制度の内容等を掲載した。

全加盟店への確実な配布のため、流改協経由のほか、メーカーと加盟店との通信ネットワークを活用したデータでの配信を依頼し、推進した。

第107号（8/26） 第47回通常総会の報告、令和6年度事業概要、事業説明会議報告

第108号（1/1） 会長年頭所感、政府等の助成金・支援金について、全改協からのお知らせ

第109号（3/28） 第36回優良事例発表会の報告、食料品小売店表彰、全改協からのお知らせ

(2) ホームページ

加盟店および関係先に対する情報伝達と内容の詳細を周知するため、優良事例等加盟店の経営に役立つ他店の取り組み事例、業界関連情報等の掲載に努めた。

(3) 関係団体との連携

酪農乳業界の一員として関係団体と連携をとり、各団体が実施する事業への参加、および情報の共有と活用を進めた。

①一般社団法人Jミルク

正会員として、理事会、マーケティング専門部会に担当役員が出席した。

Jミルク事業の生産流通関連事業に対する理解と、学術調査関連事業による研究知見の活用を進めた。コミュニケーション関連事業では、需要拡大に向けた業界方針を共有するとともに、「スマイルプロジェクト」メンバーとの情報交換を行なった。また、生乳需給が特に緩和する年末年始の消費拡大要請には、加盟店から消費者に直接配布するミルクカレンダーにより消費を喚起した。なお、学校給食のない日にも家庭での牛乳の飲用をすすめる「土日ミルク」の企画の周知と、提供コンテンツの活用による牛乳乳製品への理解向上と需要創出に取り組んだ。

②公益財団法人食品等流通合理化促進機構

担当理事が理事会に出席し、他業界団体との交流に努めるとともに、実施事業への参加および制度利用を推進した。

同機構主催の「優良経営食料品小売店等表彰事業」では、当会の第35回優良事例表彰店から3店を推薦し、それぞれ各賞を受賞した。

*受賞店と賞名

受賞した賞名	地域	受賞店
日本経済新聞社賞	三重県	有限会社草河乳業
食品等流通合理化促進機構会長賞	神奈川県	小岩井牛乳横浜ミルクセンター
食品等流通合理化促進機構会長賞	新潟県	かわだ商事株式会社

5. 総務関連

(1) 連絡体制

- ・ 事業会議のリモート開催および外部会議へのリモート出席等、効率化を図った。
- ・ 情報伝達はメールを基本とし、迅速化とともに資料のペーパーレス化に取り組んだ。
- ・ 発信文書のメール利用による効率化をすすめ、対象送付リストの整備を行った。

(2) 法令および規制等への対応

- ・ 酪農乳業界および会員都道府県流改協、加盟店に関係する各種法律、ならびに公的制度の動向を常に注視し、必要に応じて情報提供を行った。
- ・ 公益法人関係団体、税理士等との関係強化によりガバナンスの確保に努めた。
- ・ 保有する個人情報の保護・管理の強化に努めた。

以上

令和6年度 主な会務・事業等の概要

【全改協】

令和6年4月26日	監事監査
5月10日	第1回理事会
6月7日	第1回常任理事会
6月7日	第47回通常総会
7月5日	事業説明会議（Web会議）
7月19日	第2回理事会（Web会議）
10月18日	牛乳販売店優良事例 第一次審査会
11月15日	第3回理事会
12月13日	牛乳販売店優良事例 第二次審査会
令和7年2月7日	第4回理事会（Web会議）
2月14日	第36回牛乳販売店優良事例発表会
3月14日	第2回常任理事会
3月14日	第5回理事会

【Jミルク】

令和6年5月22日	監事監査に担当役員出席
5月30日	第1回理事会に担当役員出席
6月20日	定時総会及び第2回理事会に担当役員出席
9月13日	第1回マーケティング専門部会に担当役員・事務局出席
9月18日	第3回理事会に担当役員出席
10月16日	「牛乳でスマイルプロジェクト」メンバー交流会に事務局出席
11月16日	「土日ミルクフェス2024」に事務局出席
令和7年1月22日	第2回マーケティング専門部会に事務局出席
1月30日	第4回理事会に担当役員出席
2月21日	第5回理事会に担当役員出席
3月19日	第2回臨時総会に担当役員出席

【乳業団体】

令和7年1月9日	乳業団体合同賀詞交歓会
----------	-------------

【食品等流通合理化促進機構】

令和6年6月4日	第1回定例理事会に担当役員出席
令和7年2月27日	第34回優良経営食料品小売店等表彰式に事務局出席
令和7年3月7日	第2回定例理事会に担当役員出席

以上